

東雲

首里東高校通信



みなさんの活躍を応援します。

自転車 全国大会出場（個人）

平成27年6月に行われた高校総体九州予選にて自転車競技で本校3年生男子がスプリントで5位、1kmで6位に入賞し全国大会への出場が決まりました。ただし、出場できるのは1種目のみなのでスプリントにエントリーしています。全国大会は8月に開催され目標は表彰台です。力には自信があるので技術の勝負ですと話していました。練習は本校内ではできないので実際に道路（約100km）を走ったり、県総合運動公園にて行っています。指導者は外部コーチ、練習仲間は北中城高校の自転車部です。首里東高校唯一の部員であり、また最後の大会なので、是非、全力を尽くしてください。

慰霊の日の取組報告①（右上に画像あり）



講演会

沖縄市平和ガイドネットワーク知念良吉氏による「戦後70年、沖縄戦と戦後沖縄の現状」と題し講演をしていただきました。



千羽鶴・写真

図書館では、慰霊の日特設として写真、図書、と今回は全生徒による千羽鶴を展示しました。担当職員は生徒・職員に、本を読むことによって、現在の平和を実感して欲しいと話していました。

保護者の皆様へ

本校校門付近の送りの車の多さと危険さにいつも心配しています。本校では8時45分までに教室に入るように指示しています。校門で見たところ35分から40分の間が自家用車、歩行生徒、自転車のラッシュのようです。道路を横断する生徒や自転車と接触しないか気になります。皆さんがそれぞれ後5分早めに登校していただければ、後5分ゆとりを持っていただければその心配も小さくなるだろうと感じます。

お子さんのために毎日お疲れ様です。

慰霊の日の取組報告②

6月23日は県教育庁の取組により本校から7人の生徒と1人の職員が糸満市役所から平和記念公園までの9kmを歩きました。途中、子ども達は祖母から聞いた戦争の話や語り部基地について思うことを話していたそうです。歩き終えた感想からは昔は道も綺麗ではないし、暑いし、飲み物・食べ物もない状態でもっと長い距離を命の危険を感じながら、親しい人とも離れなければならないながら歩いていたことを思うと今の平和の有り難さが身にしみるとありました。また、引率教諭から道路脇では所々でボランティアの高齢者の方が給水をしていたことに、戦争体験者の思いを感じ取って欲しい、これからも平和の有り難さを伝えていって欲しいと言葉がありました。

校長より

進学指導の中で子ども達によく目標を持ちなさいと言われる。その目標について2つのたとえ（運動）で考えてみました。

一つ目は高跳びです。高跳びの練習をしようにもバー（目標）がなければ、当然、やる気が出ません。

二つめは長距離です。ランニングをしようにも距離の目標がなければ走れないし、距離が決まっても時間の設定がなければ達成感が中途半端に終わってしまいます。やはり、距離（大学の難度）と時間（期間ここでは高校時代の限られた時間）が決まって始めて充実したランニング（高校生活）となるのです。

高校時代に身に付けた知識・技能は一生の宝になります。ある先生は子ども達に「明日やろうはバカヤロー」とよく励ましていました。

本校のHPではインターネットによるトラブル防止のため、生徒、職員の氏名、個人が特定される画像は掲載していません。ご理解ください。